

『研究室紀要』総目次（第30号～第49号）

第30号（2004年06月）

創刊30年を迎えて

＜編集企画：生命と教育＞

「人間」と「生命」の間

- 大田堯先生インタビュー——……………聞き手 西平 直
戦後岩手の農村保健運動における乳幼児死亡問題と嬰兒籠
——『岩手の保健』誌の分析から——……………吉長 真子
戦争と“la vie”の教育
——C.フレネ『被弾 ～ある負傷兵の回想』を手がかりとして——……………津田 園女
森田正馬における「我が子」の死
——「大正生命主義」を通して——……………青柳 路子
近代イングランドの人々の死生観
——公開処刑制度の教育的意義とその変遷を通じて——……………入谷亜希子
現代遺伝学の教育への影響に関する検討
——優生学・優生思想を対象化するために——……………杉原 徹
生命・自己・モラルティと教育
——17・18世紀イギリス自殺論争史から——……………松永 幸子
世代を貫く生命の絆と教育学イデオロギー
——身体＝環境系の系統発生と個体発生という視点から——……………宮澤 康人

＜研究論文＞

明治前・中期の東京市街地における小学校の就学動態

- 親の職業とのかかわりで——……………土方苑子・小林正泰
1945年以後の教育諸科学の展開……………今井 康雄
池袋児童の村小学校の「協働自治」と児童劇の実践
——近代日本の訓練方法における言葉と身体をめぐる——……………水崎 富美
PISAの結果がドイツの教育にもたらしたもの
——その反省と改革——……………岩本 俊一
近代公教育原理「世俗性」と現代ドイツ・フランスの宗教教育
——（2）世俗性の歴史的諸要因——……………吉澤 昇

＜研究動向＞

教育基本法「改正」問題を考える……………教育基本法研究会

＜講演＞

歴史的教育人間学への転回……………クリストフ・ヴルフ（今井 康雄 訳）

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／汐見ゼミ／今井ゼミ／今井ゼミ（外書講読）／西平ゼミ／
土方ゼミ／福島ゼミ／米田ゼミ／大田ゼミ
[学部] 教育学基礎演習／人間学と教育／教育哲学演習／教育人間学演習／
日本教育史演習／教育改革と公共性

＜研究会動向＞

各種学校研究会／教育基本法研究会／現在思想研究会／保育・幼児教育研究会

＜2003年度修士論文要旨＞

＜2003年度卒業論文一覧＞

＜『研究室紀要』総目次（創刊号～第29号）＞

第31号（2005年06月）

＜研究論文＞

教育における〈他者〉承認への課題

——H.コフートにおける「自己対象」概念の検討を通じた考察—— …………… 野見 収

H.ノールにおける教育的関係論の生成について

——社会的教育学とのかかわりを中心に—— …………… 岩本 俊一

中村春二の教育思想と凝念法…………… 小室 弘毅

近代公教育原理「世俗性」と現代ドイツ・フランスの宗教教育

——（3）世俗性の歴史的諸要因（続）—— …………… 吉澤 昇

＜研究動向＞

「修養」研究の現在 …………… 瀬川 大

＜書評＞

今井康雄『メディアの教育学—「教育」の再定義のために』…………… 村上 博文

白水 浩信『ポリスとしての教育—教育的統治のアルケオロジー』…………… 入谷亜希子

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／汐見ゼミ／今井ゼミ／西平ゼミ／土方ゼミ／川本ゼミ／
福島ゼミ

[学部] 教育学基礎演習／人間学と教育／教育哲学演習／教育人間学演習／
日本教育史演習／西洋教育史演習

＜研究会動向＞

各種学校研究会／教育基本法研究会／現在思想研究会／精神分析学研究会／
保育・幼児教育研究会

＜2004年度修士論文要旨＞

＜2004年度卒業論文一覧＞

第32号（2006年06月）

＜研究論文＞

恩賜財団愛育会による愛育村事業の創設と展開

——1930年代の農山漁村における妊産婦・乳幼児保護運動—— …………… 吉長 真子

改正教育令期ごろまでの文部省の「専門学校」観

——学校体系観との関連で——…………… 吉田 昌弘

新優生学と教育

——生殖系列遺伝子改良と子どもの〈他者〉性をめぐる考察を通して—— …………… 杉原 徹

明治後期における女子教育の一断面

——私立裁縫女学校の地域内展開と歴史的 position—— …………… 池田 雅則

日本移住中国人と学校に関する一考察

——20世紀初期における長崎時中学校を通して—— …………… 桂 燕玉

近代公教育原理「世俗性」と現代ドイツ・フランスの宗教教育

——（4）ドイツの世俗化、世俗性、世俗主義 A—— …………… 吉澤 昇

＜研究動向＞

ケアへの規範的アプローチ

——その隘路と突破口についての覚え書—— …………… 川本 隆史

＜書評＞

川本隆史編『ケアの社会倫理学—医療・看護・介護・教育をつなぐ』……………馬上 美知
西平直『教育人間学のために』……………野見 収

＜記録＞

私の仕事

——戦後教育学の総括とかかわって——……………堀尾 輝久

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／汐見ゼミ／今井ゼミ／西平ゼミ／土方ゼミ／川本ゼミ／
北本ゼミ

[学部] 教育学基礎演習／人間学と教育／教育哲学演習／日本教育史演習／
西洋教育史演習

＜研究会動向＞

各種学校研究会／教育基本法研究会／現在思想研究会／保育・幼児教育研究会

＜2005年度修士論文要旨＞

＜2005年度卒業論文一覧＞

第33号（2007年06月）

＜特別企画＞

研究室懇談会記録「私の歩み」……………汐見稔幸・土方苑子

土方苑子教授主要著作目録

土方苑子教授主要著作解題

——研究の歩みと方法論に着目して——

……………池田雅則・小野方資・加島大輔・小林正泰・吉田昌弘

教育学を拓く

——汐見稔幸教授とともに——……………久保健太・塩崎美穂・宮城哲・村上文博

＜研究論文＞

教育関連三法案における新学テ・教員評価・学校評価の位置付け

——動態的立法過程観に基づく試論——……………小野 方資

教育学における遊戯論

——1950年代以降のドイツにおける議論——……………青木美智子

シラー『美的書簡』における「遊戯衝動」

——ゲーテ文学からの解明——……………井藤 元

「梧陰文庫」にみる明治初期の高等教育と官吏任用

——英仏米国における官吏任用制度改革の動向をふまえて——……………菊池信太郎

近代公教育原理「世俗性」と現代ドイツ・フランスの宗教教育

——（５）ドイツの世俗化、世俗性、世俗主義 B——……………吉澤 昇

＜研究動向＞

近代イギリス民衆教育史における日曜学校研究の意義と課題……………岩下 誠

＜翻訳＞

美的人間形成……………ミヒヤエル・パルメンティエー（今井 康雄 訳）

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／土方・汐見ゼミ／汐見ゼミ／今井ゼミ／

今井ゼミ（外書講読）／西平ゼミ／土方ゼミ／川本ゼミ／福島ゼミ／

原ゼミ

[学部] 教育学基礎演習／人間学と教育／教育哲学演習／教育人間学演習／
日本教育史演習

＜研究会動向＞

各種学校研究会／保育・幼児教育研究会

＜2006年度修士論文要旨＞

＜2006年度卒業論文一覧＞

第34号（2008年06月）

＜研究論文＞

日本における〈子育ての社会化〉の問題構造

——教育と福祉をつらぬく視点から—— …………… 吉長 真子

〈子どものための道〉の思想水脈

——Independent mobility概念の展開—— …………… 久保 健太

教育の「日常性」についての言語論的考察

——言語ゲーム論の方法論的再定位—— …………… 渡邊福太郎

大正期小学校建築と教育実践の連関に関する考察

——「復興小学校」の一事例にもとづいて—— …………… 小林 正泰

近代女子道徳教育の歴史

——良妻賢母と女子特性論という二つの位相—— …………… 蔵澄 裕子

近代公教育原理「世俗性」と現代ドイツ・フランスの宗教教育

——（6）トレルチの政教分離論と宗教教育改革論—— …………… 吉澤 昇

＜研究生ノート＞

「倫理」教育を学び直す …………… 長島 隆行

＜史料紹介＞

仲新寄贈文書（分類A）目録および解説

…………… 土方苑子・瀬川大・吉田昌弘・加島大輔・池田雅則

＜翻訳＞

スローガンとしての自己制御学習

——その二重の顔—— …………… カール・ノイマン（今井 康雄 訳）

＜書評＞

小松佳代子『社会統治と教育—ベンサム教育思想—』 …………… 山口 真里

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／今井ゼミ／今井ゼミ（外書講読）／西平ゼミ／川本ゼミ／
菱刈ゼミ／斉藤ゼミ

[学部] 教育学基礎演習／人間学と教育／教育哲学演習／日本教育史演習／
西洋教育史演習

＜研究会動向＞

現象学とマルクス主義研究会

＜2007年度修士論文要旨＞

＜2007年度卒業論文一覧＞

第35号 (2009年03月)

＜研究論文＞

- 教育における遂行中断性・序説……………小玉 重夫
「全国学力・学習状況調査」政策の形成過程
——政策評価制度とのかかわりで——……………小野 方資
ケイパビリティ・アプローチにおける「自由」及び「平等」の概念について
——教育における公共性概念の再考のために——……………馬上 美知
幼保一元化問題における保育概念の検討
——フレーベルの「保護養育」思想を手がかりとして——……………青木美智子
19-20世紀転換期における農村の塾と館主の変容
——新潟県長善館をめぐる「中等教育」・「青年教育」・「地域指導者層育成」——
……………池田 雅則
先生のいない研究室……………吉澤 昇
私と教育学……………吉澤 昇

＜研究動向＞

- アイデンティティ生成過程の再政治化戦略
——「バトラー＝ラクラウ論争」における——……………吉田 直哉
オーストラリアにおける日本研究（続）……………池田 俊一
「母性」と家族像
——近代女子道德教育と日本的家族像形成への道——……………蔵澄 裕子

＜史料紹介＞

- 春山作樹著作等関係資料目録
——『春山作樹教育論集』編纂等関係資料目録——
……………吉田 昌弘・小林正泰・菊池信太郎・土方苑子

＜翻訳＞

- イメージ・まなざし・イマジネーション……………クリストフ・ヴルフ（今井康雄 訳）

＜書評＞

- 川本隆史『共生から』……………児島博紀・宮城哲
于臣『渋沢栄一と〈義利〉思想—近代東アジアの実業と教育』……………高野 暁子
土方苑子編『各種学校の歴史的研究—明治東京・私立学校の原風景』……………瀬川 大

＜特別企画＞

- 教育学研究室年譜

＜ゼミ動向＞

- [大学院] 総合演習／今井ゼミ／今井ゼミ（外書講読）／小玉ゼミ／川本ゼミ／
福島ゼミ／木村ゼミ
[学部] 教育学基礎演習／人間学と教育／教育哲学演習／日本教育史演習／
西洋教育史演習

＜研究会動向＞

- 総合教育学研究会
「啓蒙」を読む会

＜2008年度修士論文要旨＞

＜2008年度卒業論文一覧＞

第36号 (2010年06月)

〈巻頭言〉

〈人為〉の人間学 金森 修

〈研究論文〉

1880-90年代の漢学塾

——新潟県長岡町誠意塾の指導方法・カリキュラム・塾生の学習歴—— 池田 雅則

ドイツ統治下膠州湾租借地における近代学校制度の構築

——蒙養学堂を中心に—— 山本 一生

新学習指導要領における小学校外国語活動新設の目的と背景に関する一考察

——中等英語教育課程を再検討するために—— 福田 学

復興小学校建設事業に関する基礎的研究

——事業計画の策定とその変更過程—— 小林 正泰

一般記録史料記述の国際標準ISAD(G)の解釈論の意義とその試み

——『春山作樹教育論集』編纂刊行資料についてのISAD(G)を使用した記録史料記述——

..... 吉田 昌弘

神学と人間学と宗教教育

——デカルトと「ルーダンの悪魔つき」(1634) から、フロイトの宗教批判まで—— (1)

..... 吉澤 昇

〈研究動向〉

修復的正義から「修復的实践」へ

——「修復的」であることの教育的意義の探求—— 山辺恵理子

諸外国における特別支援教育の実際

——フランス、ドイツ、アメリカにおける特別支援教育と日本との比較—— 村上美奈子

〈書評〉

Carol Gilligan *KYRA* Random House, New York, 2008. 金 暁輝

田中智志・今井康雄編『キーワード現代の教育学』 田口賢太郎

木村 元・小玉重夫・船橋一男『教育学をつかむ』 稲井 智義

〈編集企画〉

共同討議 基礎教育学コースの「これから」

〈活動記録〉

研究室における資料の調査・整理・保存

〈ゼミ動向〉

[大学院] 総合演習／今井ゼミ／小玉ゼミ／金森ゼミ／川本ゼミ／福島ゼミ／

木村ゼミ

[学部] 基礎教育学方法論演習／人間学と教育／教育哲学演習／日本教育史演習／

西洋教育史演習

〈研究会動向〉

「啓蒙」を読む会／共同存在論研究会

〈2009年度修士論文要旨〉

〈2009年度卒業論文一覧〉

第37号 (2011年06月)

＜研究論文＞

プロジェクト活動と知

——表象知と生の経験—— 田中 智志

〈人文知〉の不可還元性のために 金森 修

教育実習に関わる制度・政策の分析

——2000年代以降における動向を中心に—— 池田雅則・小林正泰・宮城哲

自律と他律のあいだで

——土居健郎の「甘え」理論における能動性の問題—— 関根 宏朗

教育における言語・事物・規範性

——後期ウィトゲンシュタインの「直示的定義」をめぐる——

..... 渡邊福太郎

持田栄一の「幼保一元化」批判論における公共性認識 吉田 直哉

ハインリヒ・ヴォルガストの児童文学批判

——世紀転換期ドイツにおける読書教育をめぐる—— 吉本 篤子

神学と人間学と宗教教育（2） 吉澤 昇

＜研究動向＞

安楽死とケアリング

——1997年、アメリカ最高裁判決からの検討—— 藤井 薫

新訳『正義論』を読む 宮地和樹・児島博紀

宮澤康人「教育関係史」研究ノート

——その意義と可能性—— 堤ひろゆき・吉田直哉・稲井智義

＜書評＞

田中智志編著『学びを支える活動へ：存在論の深みから』

..... 村上美奈子・米津美香・松本郁恵

金森修『〈生政治〉の哲学』 木下 慎

重田園江『連帯の哲学Ⅰ—フランス連帯主義—』 村松灯・土屋創

＜活動記録＞

研究室における資料の調査・整理・保存 吉田 昌弘

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／今井ゼミ／金森ゼミ／川本ゼミ／小玉ゼミ／田中ゼミ／

木村ゼミ／重田ゼミ

[学部] 基礎教育学方法論演習Ⅰ・Ⅱ／教育人間学演習／日本教育史演習／

教育臨床学演習

＜2010年度修士論文要旨＞

＜2010年度卒業論文一覧＞

第38号 (2012年06月)

＜研究論文＞

1930年代郷土教育運動における歴史の再構築 小国 喜弘

教科書における歴史の視覚的演出

——近代戦争の挿画を中心に—— 韓 炫精

「ケアと正義」の再考

——C.ギリガン対L.コールバーグ論争を中心に—— 金 暁輝

初期映画のもたらしたイメージの人間形成論的潜勢力	
——ジゴマ騒動を読み直す——	金 鍾九
教育における能力形成と有用性をめぐる時間論的考察	
——ジョルジュ・パタイユの「瞬間」概念に着目して——	田口賢太郎
B.バーンステインの「教育コード」理論の形成過程	
——1970年前後の転回に着目して——	吉田 直哉
親の宗教と子の信仰と	吉澤 昇
＜エッセイ＞	
震災と言葉	
——沈殿している記憶——	松本 郁恵
＜翻訳＞	
身振りのミメシス的・表象的な性格	
——人文社会科学における身振り研究の展望——	
	クリストフ・ヴルフ（河野桃子・田口康大・渡邊福太郎 訳）
＜書評・映画評＞	
映画『コクリコ坂から』にみる高校生の政治的活動	古仲 素子
デイヴィッド・ヴィンセント、北本正章監訳、岩下誠・相澤真一・	
北田佳子・渡邊福太郎訳『マス・リテラシーの時代	
——近代ヨーロッパにおける読み書きの普及と教育』	江口怜・稲井智義
池田喬『ハイデガー 存在と行為——「存在と時間」の解釈と展開』	松橋 俊輔
田中智志・橋本美保『プロジェクト活動——知と生を結ぶ学び』	中村 頌
金森修編著『昭和前期の科学思想史』	柳橋 晃
バジル・バーンステイン『〈教育〉の社会学理論	
——象徴統制、〈教育〉の言説、アイデンティティ』	
（久富善之、長谷川裕、山崎鎮親、小玉重夫、小澤浩明訳）	加藤大貴・田中智代子
＜ゼミ動向＞	
〔大学院〕総合演習／今井ゼミ／金森ゼミ／川本ゼミ／小玉ゼミ／田中ゼミ／	
小国ゼミ／片山ゼミ／橋本ゼミ	
〔学部〕基礎教育学方法論演習Ⅰ・Ⅱ／日本教育史演習／教育臨床学演習／	
価値と教育	
＜研究会動向＞	
Democracy and Educationを読む——デューイ研究会	
＜2011年度修士論文要旨＞	
＜2011年度卒業論文一覧＞	

第39号（2013年09月）

＜研究論文Ⅰ＞

共鳴共振する存在

——ハイデガー／ティリッヒのカイロス—— 田中 智志

学校での市民性教育への反対論の検討

——左派の立場への偏向・論争的な問題・『不都合な真実』—— 片山 勝茂

明治初年の学校、子ども、教育論 土方 苑子

＜研究論文Ⅱ＞

夜と音楽

——J=L・ゴダール『ノートル・ミュージック』をめぐる——……………今村 純子

最近接発達領域は「可能性の領域」か

——発達の力動の観点からの考察——……………堀村志をり

学校教育カリキュラムにおけるケアの実践知の観点

——看護における〈技術〉と〈思慮〉の関係を手がかりに——……………佐藤 静

ピーターズら多元主義的立場からの進歩主義教育批判の論理……………吉田 直哉

子ども救済事業から子ども保護事業への展開

——石井十次の家族と学校に関する思想と実践を通じて——……………稲井 智義

日本における教育の能率化と教育工学の萌芽

——矢口新におけるプログラム学習論の成立を手がかりとして——……………邊見 信

綴り方教授における「自己」への道

——樋口勘次郎の「自発活動」から芦田恵之助の「発動的態度」へ——……………松橋 俊輔

前期ドゥルーズの学習論……………稲田 祐貴

小林宗作のリズム教育論

——始まりとしての「自然」と媒介としての「芸術」——……………江川愛都紗

1920年代における赤井米吉の教育思想

——宗教的・神秘的、かつ社会改造的思想を中心に——……………李 舜志

＜研究動向＞

教育史におけるオーラル・ヒストリー研究の動向と可能性……………江口 怜

手塚岸衛における「自由」

——自学と自治の実践をてがかりに——……………田中智代子

＜講演会記録＞

千葉雅也氏講演会「部分的な無関心について」の報告……………小玉 重夫

＜書評＞

山本一生『青島の近代学校——教員ネットワークの連続と断絶——』……………堤ひろゆき

松永幸子『近世イギリスの自殺論争

——自己・生命・モラルをめぐるディスコースと人道協会——』……………志田絵里子

北野秋男・吉良直・大桃敏行編『アメリカ教育改革の最前線

——頂点への競争——』……………安部高太郎・鈴木康弘

金森修『動物に魂はあるのか』……………稲田 祐貴

小松美彦『生権力の歴史

——脳死・尊厳死・人間の尊厳をめぐる——』……………江川愛都紗

小玉重夫・森川輝紀編『教育史入門』……………高田 正哉

小林正泰『関東大震災と「復興小学校」

——学校建築にみる新教育思想——』……………畑中祐樹・古仲素子

田中智志『教育臨床学——〈生きる〉を学ぶ——』……………李 舜志

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／今井ゼミ／金森ゼミ／川本ゼミ／小玉ゼミ／田中ゼミ／

小国ゼミ／片山ゼミ／西村ゼミ

[学部] 基礎教育学方法論演習Ⅰ・Ⅱ／教育臨床学演習／教育人間学演習／

価値と教育

＜研究会動向＞

子どもと教育の図像・表象研究会
＜2012年度修士論文一覧＞
＜2012年度卒業論文一覧＞

第40号（2014年07月）

＜巻頭言＞

「記憶をもつ」紀要に

——創刊40周年を閲して—— …………… 川本 隆史

＜特別企画＞

教育におけるモノとメディア

——ある研究アプローチの構想と提案—— …………… 今井 康雄

今井康雄教授略歴・研究業績一覧

メディアの教育学という沃野

——弟子たちが見た今井康雄教授—— …………… 土屋創・安部高太郎

＜編集企画＞

公開インタビュー 教育学研究者として教育現実といかに向き合ってきたか

…………… 堀尾 輝久

＜特別寄稿＞

東大で学んだ「教える技法」…………… 寺崎 昌男

エコロジー・ポストモダニズム・環境＝身体系の教養

——〈自然〉主義の再考をめぐる読書ノートから研究動向へ——…………… 宮澤 康人

1980年代——史哲研究室と〈過去の消化〉…………… 吉澤 昇

＜研究論文Ⅰ＞

アガペーと共現前

——マルセルのコミュニオン——…………… 田中 智志

「教育実践」の歴史性

——戦後教育の転換に焦点をあてて——…………… 小国 喜弘

＜研究論文Ⅱ＞

1910-20年代における愛染橋夜間小学校の活動と冨田象吉の教育政策批判

——不就学問題に着目して——…………… 稲井 智義

映像という詩のかたち

——ジョナス・メカス監督『リトアニアへの旅の追憶』をめぐる——…………… 今村 純子

自由への無限の過程

——ヘルバルトの道徳教育論における「完全性」概念の含意——…………… 小山 裕樹

乳をめぐる実母の役割

——江戸期養生論を手がかりに——…………… 高野 暁子

教科書における帝国の風景

——戦前地理教科書の写真使用を中心に——…………… 韓 炫精

鶴見俊輔研究序説

——「自己」・「サークル」・「老い」の問題群をめぐる——…………… 宮城 哲

レヴィナス後期思想における「隔時性」概念と倫理的〈主体〉をめぐる

…………… 山口 美和

教育関係における信頼概念の特徴

——ルーマンを手がかりに——…………… 横井 夏子

＜研究動向＞

1940年代後半から1960年代前半の映画教育における教師の動き

——映画製作会社や映画関連機器・機材メーカーとの関係のなかで—— …… 邊見 信

＜書評＞

＜合理性＞の黄昏、それでもなお

金森修編『エピステモロジー——20世紀のフランス科学思想史——』

…………… 石川 洋行

小玉重夫『難民と市民の間で

——ハンナ・アレント『人間の条件』を読み直す——』…………… 石神真悠子

森田裕之『ドゥルーズ＝ガタリのシステム論と教育学——発達・生成・再生——』

…………… 稲田 祐貴

広田照幸・橋本伸也・岩下誠編

『福祉国家と教育——比較教育社会史の新たな展開に向けて——』…………… 江口 怜

大田堯『大田堯自撰集成 1 生きることは学ぶこと——教育はアート——』

…………… 梶川 萌

小玉重夫『学力幻想』…………… 永井 領児

池田雅則『私塾の近代——越後・長善館と民の近代教育の原風景——』

…………… 二見総一郎・古仲素子

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／金森ゼミ／川本ゼミ／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／

片山ゼミ／山名ゼミ

[学部] 基礎教育学方法論演習Ⅰ・Ⅱ／教育臨床学演習／教育人間学演習／

価値と教育／生・権力論と教育／日本教育史演習

＜学位論文一覧＞

第41号（2015年07月）

＜特別寄稿＞

戦後レジームからの脱却と教育基本法改正…………… 堀尾 輝久

1980年代：史哲研究室と〈過去の消化〉

——（2）市民社会論、社会史研究と私たち——…………… 吉澤 昇

＜講演記録＞

私と教育学…………… 里見 実

＜研究論文Ⅰ＞

存在に向かう思考

——ハイデガーの「学び」——…………… 田中 智志

＜研究論文Ⅱ＞

ボードリヤールと生権力論…………… 石川 洋行

「能力主義」批判の教育実践史

——遠藤豊の「自由への教育」に着目して——…………… 伊藤 裕紀

ドゥルーズの絵画論と図画工作…………… 稲田 祐貴

1950年代の和歌山県における部落子ども会と夜間学級

——新宮市立城南中学校の事例を中心に——…………… 江口 怜

生命の（反）ユートピア

——オルダス・ハックスリー『すばらしい新世界』を読む——…………… 奥村 大介

C・ライト・ミルズの都市社会研究における高等教育への視点

——都市問題とシティズンシップ教育に関する試論—— 高田 正哉
戦前期における学校看護婦の成立過程

——その位置づけに着目して—— 高橋 沙希
「思考」をめぐるハイデガーとアレントの交差

——「アナクシマンドロスの箴言」を端緒として—— 田中智輝・村松灯・李舜志
学校報国団による生徒の「自治」の変化

——長野県松本中学校の「自治機関」に注目して—— 堤ひろゆき
韓国の高等学校教科書『東アジア史』に関する研究

——日本関係記述の比較分析を中心に—— 柳 準相
1970年代の科学教育における受容の性格

——島津康男の拡大された地球科学、トランス・サイエンス、環境学—— 山田 俊弘

＜翻訳＞

『手仕事としての教育 教育の提示構造についてのスケッチ』第一章

..... クラウス・プランゲ（安部高太郎
・木下慎・土屋創・松井健人・李舜志 訳）

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／金森ゼミ／川本ゼミ／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／
片山ゼミ

[学部] 基礎教育学方法論演習Ⅰ／基礎教育学方法論演習Ⅱ／教育臨床学演習／
価値と教育／生・権力論と教育／日本教育史演習

＜研究会動向＞

教育と〈社会的なもの〉研究会

＜学位論文一覧＞

第42号（2016年07月）

＜巻頭の辞＞

金森修先生を追悼する 小国 喜弘

＜特別企画＞

記憶のケア・脱中心化・脱集計化

——ある倫理学研究者のスローな足どり—— 川本 隆史
文化学原論・生命環境倫理学・西洋教育史

——ゼミ35年間の歩み—— 川本 隆史
ジョン・ロールズのコミュニティ構想における人びとの関係

——卒業論文と「政治的リベラリズム」との対質—— 中西 亮太
教育問題としての子どもの貧困と尊厳 柳橋 晃

＜特別寄稿＞

青年期の発達と教育課題 堀尾 輝久
生と死の〈弁証法〉と〈内在的終末論〉への願望

——自然主義と歴史哲学の接合可能性を模索しつつN.O.ブラウン

『エロスとタナトス』を再読する 宮澤 康人

1980年代——史哲研究室と〈過去の消化〉

——（3）ミシェル・フーコー再読—— 吉澤 昇

＜研究論文Ⅰ＞

隠喩とイロニー

——交感する心情に依る超越性—— 田中 智志

＜研究論文Ⅱ＞

ルソーの教育思想と実践との関連及び「隠された」政治性の探求

——『エミール』と植物教育の手紙を軸に—— 荒井 宏祐

デュイイ宗教論における「理想」概念の検討

——適応の切れ目へのまなざし—— 梶川 萌

近代教育批判の根拠

——田中智志の教育思想をめぐって—— 木下 慎

1930年代の中学校における音楽部の活動

——兵庫県立第一神戸中学校における喇叭の導入に着目して—— 古仲 素子

1964年東京オリンピックをめぐる道徳教育の課題とその倫理

——国民的教育運動における公衆道徳と「日本人の美徳」—— 小林 正泰

天・地・人の技法

——反問からみる生の安定—— 高野 暁子

政治において当事者とは誰か？

——アレント、ムフ、ランシエール—— 田中 智輝

カントにおける「素質」概念と「超越性」 土屋 創

カール・シュミットと「プラクシスの原理」

——「教育のプラクシス」に向けて—— 古川 亮一

ナチ時代における公共図書館の使命の一側面

——ヴィルヘルム・シュスターの公共図書館論に着目して—— 松井 健人

J. バトラーにおける「政治教育」 山口 恭平

「森のようちえん」をめぐるポリティーク

——「信州型自然保育」検討委員会の議事録分析を通して—— 山口 美和

＜研究ノート＞

高校水産教育に記された水俣病に関するひとつの誤謬

——有機水銀説を記した高校職業科用教科書からの検証—— 中野 浩

「生き延びてきた」戦争の記憶を継承する

——「生のあやうさ」に根ざす平和教育の再構築に向けて—— 吉田 直子

＜書評＞

宮澤康人『＜教育関係＞の歴史人類学—タテ・ヨコ・ナナメの世代間文化の変容』

..... 桑嶋晋平・江口怜・鈴木康弘

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／金森ゼミ／川本ゼミ／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／

片山ゼミ／木村ゼミ

[学部] 基礎教育学方法論演習Ⅰ／基礎教育学方法論演習Ⅱ／教育人間学演習／

教育臨床学演習／価値と教育／生・権力論と教育／レヴィナス哲学研究

＜研究会動向＞

大人と子供の関係史研究会

＜学位論文一覧＞

第43号 (2017年07月)

〈特別企画〉

- 金森修先生の追悼企画にあたって 稲田祐貴・奥村大介・山田俊弘
金森さんへの追悼のスピーチ 佐藤 学
金森修教授 研究業績一覧 稲田 祐貴
まだ見ぬ図書館へ
——金森修先生蔵書整理の記録—— 奥村 大介
市民的公共性の発露としての〈科学批判学〉
——『サイエンス・ウォーズ』からその先へ—— 石川 洋行
「一種のフーコー主義」の内奥
——金森修の方法について—— 稲田 祐貴
霧心の哲学
——金森修の空間・場所論—— 犬塚 悠
リベラリズムと虚構性
——現代遺伝学史と金森修—— 猪口 智広
金森修先生と書物のこと 奥村 大介
境界に住まう者たちのために
——人間と〈人間未満の存在〉についての試論—— 堀江 郁智
金森修におけるヒストリオグラフィーの問題
——科学史記述と科学教育論の視点から—— 山田 俊弘
人間であるということ
——金森修における境界人間論の意義について—— 若松 猛

〈特別寄稿〉

- 自己形成の物語と世代継承の物語の間
——「ビルドゥングスロマンを読む会」の40年から考える—— 宮澤 康人
1980年代：史哲研究室と〈過去の消化〉
——（4）キリスト教的主体形成から自己の解釈学へ—— 吉澤 昇

〈聴き取り記録〉

- 私の教育行政学への関心
——大学での教育研究と教育運動を中心にして—— 三上 和夫

〈研究論文Ⅰ〉

- 表徴と反復
——人はどのように学ぶのか—— 田中 智志

〈研究論文Ⅱ〉

- 羽仁もと子の教育思想における「自由」
——「宗教心」との関係に着目して—— 相田 まり
子どもの哲学（p4c）における活動的あるいは事実的生
——初期ハイデガーとアーレントにおけるロゴスに着目して—— 川上 英明
L.シュトラウスにおける「人間性」概念
——シュトラウス・コジェーヴ論争を手掛かりに—— 志田絵里子
人の根本原理としての「タマ」
——鎮魂の研究史から—— 高野 暁子
J・デューイの『人間本性と営為』における「正常」な「熟慮」
——「成長」の思想のより具体的な理解へ向けて—— 松橋 俊輔

＜研究ノート＞

東京市における青年団の一考察

——京橋区青年団南築分団を事例にして—— 田邊 尚樹

ヴァイマル期ドイツにおける教養市民層と民衆教育

——教養市民層の「教養」理解への問題視角—— 松井 健人

＜翻訳＞

幼稚園のなかのデモクラシー

——幼児たちが世界に安心して存在することを支えるということ——

..... ガート・ビースタ（小玉重夫 監訳、鈴木康弘・高田正哉 訳）

『ドグマ史としての改革教育学』第5章 第1節 ユルゲン・エルカース

.....（木下慎・土屋創・松井健人・李舜志 訳）

＜書評＞

金森修『科学の危機』 中野 浩

小玉重夫『教育政治学を拓く 18歳選挙権の時代を見すえて』

..... 渡邊真之・松井健人

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／川本ゼミ／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／片山ゼミ

[学部] 生・権力論と教育／教育人間学演習／教育臨床学演習／日本教育史演習／

価値と教育／人間形成論

＜研究会動向＞

「物語を愉しむ会（「ビルドゥングスロマンを読む会」改め）」の展望

..... 宮澤 康人

＜学位論文一覧＞

第44号（2018年07月）

＜特別寄稿＞

笑う・教育学

——微笑・哄笑・苦笑・憫笑・嘲笑するという関わり方とヒトの成熟—— 宮澤 康人

＜講演記録＞

私はなぜ「田園」研究者になったのか

——文化批判の批判を自分史に重ねて—— 山名 淳

＜研究論文Ⅰ＞

〈神を見る〉という隠喩

——全体性なき全体性—— 田中 智志

＜研究論文Ⅱ＞

羽仁もと子の教育思想における神の二面性について 相田 まり

コンセンサスと沈黙の間における言語活動

——ジャック・ランシエール教育論における二つの愚鈍化からの解放の論理——

..... 川上 英明

デューイにおける経験の分有について

——目的合理性と合一的共同性を超えて—— 木下 慎

最晩年ウィトゲンシュタインにおける教師と教育

——『哲学探究』の教師と『確実性の問題』の教師の比較から——

..... 清野 正義

普通学校就学運動から見る障害児の意志		
——金井闘争に焦点を当てて——	末岡	尚文
折口信夫「未成霊」論における成熟への道		
——死者と生者の関わり——	高野	暁子
がっこの会による医療化批判と本質主義批判	高橋	沙希
大正期公民教育における青年と修養		
——天野藤男の公民教育論を中心に——	田邊	尚樹
ハンナ・アレントの全体主義批判における複数性の喪失と再生		
——教室における生徒間の関係を読み解くための準備として——	樋口	大夢
J.デューイのデモクラシー論における美的経験とアートの役割	堀越	耀介
発達保障思想の再検討		
——糸賀一雄の思想形成に着目して——	森	和宏
ベルナル・スティグレルにおける啓蒙の代補について		
——カント『啓蒙とは何か』読解に着目して——	李	舜志
韓国的高校社会教科「東アジア史」と授業実践事例		
——「テーマ学習に基づいた『討論』授業」に着目して——	柳	準相
教育実践における「自己－表現」の概念		
——富士小学校の教育方法改革を手がかりに——	渡邊	優子
＜研究ノート＞		
政治教育における政治的中立性と主体の葛藤		
——C.ムフの合理性批判を手掛かりに——	浜田	未貴
教養＝人間形成の終焉		
——ナチ期Bildung概念検討のためのマイヤー事典を用いた予備的考察——		
.....	松井	健人
デューイの教育思想に依拠して論じられた道徳授業論の現状		
——道徳教育の指導法としてのアクティブラーニングへの期待と懸念——		
.....	松橋	俊輔
記憶論と翻訳論のあいだ		
——「他者の記憶を翻訳する」ための試論——	吉田	直子
＜書評＞		
田中智志『何が教育思想と呼ばれるのか：共存在と超越性』	川上	英明
山名淳・矢野智司編『災害と厄災の記憶を伝える：教育学は何かができるのか』		
.....	李	舜志
＜ゼミ動向＞		
[大学院] 総合演習／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／山名ゼミ／片山ゼミ／		
駒込ゼミ（植民地教育史）		
[学部] 教育政治学演習／教育文化論演習／戦後教育史演習／価値と教育Ⅱ／		
比較教育思想		
＜学位論文一覧＞		

第45号 (2019年07月)

〈特集〉

- 特集にあたって：いま、大田教育学から学ぶ……………田邊尚樹・渡邊真之
ちがう・かかわる・かわる
——地域の中で教育を問う——案内—— ……………大田 堯
あいさつ……………大田 堯
教育を通しての人間のlifeの研究
——大田堯先生の追究されたこと—— ……………上野 浩道
大田教育学研究会中間報告
……………久島裕介・川上英明・長戸光・末岡尚文・田邊尚樹

〈特別寄稿〉

- 日本国憲法・教育基本法の理念と子どもの権利・学習権論の発展
——戦後75年の歴史のなかで—— ……………堀尾 輝久
フーコーとキリスト教的主体性
——救済宗教と魂の統治、悔い改めと回心（自己への立ち帰り）、生活形成——
……………吉澤 昇

〈研究論文Ⅰ〉

- 〈鏡の隠喩〉のなかで
——脱構築できない無垢—— ……………田中 智志

〈研究論文Ⅱ〉

- ハンナ・アレントにおける“一人である”ことの多層性
——政治的主体化へ向けて——……………石神真悠子
精神障害者家族会活動における子どもの「発見」
——『わが家の母はビョーキです』を手がかりに—— ……………杉森美和子
認識の歴史性
——板倉聖宣と所美都子—— ……………長戸 光
〈地学教育〉の間隙と転轍
——地質学者 望月勝海の日記に見る1940年代——……………山田 俊弘

〈研究ノート〉

- 現代教育学における実証主義の問題
——マルティン・ハイデガーの実在論批判を手がかりに—— ……………川上 英明

〈翻訳〉

- シティズン・プロフェッショナルの方へ
——高等教育における市民教育の新たな局面——
……………ハリー・C・ボイト（藤枝聡・川上英明 訳）

〈書評〉

- 金森修『知識の政治学：〈真理の生産〉はいかにして行われるか』……………大瀧 辰也
森田尚人・森田伸子編『教育思想史で読む現代教育』……………笹瀬 聖人

〈ゼミ動向〉

- [大学院] 総合演習／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／山名ゼミ／片山ゼミ／
大塚ゼミ
[学部] 教育の公共性を考える／教育と交感性を考える／近現代日本教育史演習／
教育哲学演習／価値と教育Ⅲ

〈学位論文一覧〉

第46号 (2020年07月)

＜特別寄稿＞

丸山眞男先生の平和思想 ゼミ生としての想いに重ねて

(第一九回 丸山眞男文庫記念講演会 2019.12.7) …………… 堀尾 輝久

脱・近代教育学・批判の方法

——フロイトから自然学の無神論的契機に及ぶ—— …………… 宮澤 康人

＜研究論文Ⅰ＞

教育的関係における受動的かつ非主題的な身体性の意義

——〈おのずと伝わること〉に関する現象学的一考察—— …………… 大塚 類

能力で隠される力

——先導する象る力—— …………… 田中 智志

＜対談＞

教育におけるポピュリズムと政治…………… 山本圭・小玉重夫

＜研究論文Ⅱ＞

占領期文部省における生徒会論の成立過程に関する一考察

——戦後公民教育構想から『新しい中学校の手引』まで—— …………… 猪股 大輝

ジュディス・パトラーとマーサ・ヌスバウムの「女性」と「身体」論の異同

…………… 大瀧 辰也

1980年代における養護教諭の専門性の検討

——日本学校保健学会の共同研究を中心に——…………… 柏木 睦月

前期ウィトゲンシュタインにおける「語りえないもの」

——論理と倫理に共通するもの—— …………… 清野 正義

「働き方改革」から考える「シティズンシップ教育」

——ハンナ・アレント『活動的生』を手がかりに—— …………… 高田 春奈

保育における「共同」の可能性

——アトム共同保育所を手がかりにして—— …………… 高橋 沙希

長田新の学科カリキュラム論における主体に関する考察

——生活・ヒューマニズム・道徳教育に着目して—— …………… 田邊 尚樹

牛山榮世による「ひとりひとり」に応じた教育の追究…………… 久島 裕介

範列分析による二項対立概念の検討

——議論教育論の礎として——…………… 久島 玲

シティズンシップ教育における「市民としての行為主体性」概念の再検討

——ハリー・ポイトとガート・ビースタの議論を手がかりに——…………… 藤枝 聡

西多摩プランの開発過程における討議と協力…………… 前田 智成

ヴァイマル期ドイツ社会教育・民衆教育における教養理念

——フリットナー素人教養論争の再検討と共通基盤の解明——…………… 松井 健人

植民地期朝鮮の初等歴史教科書における「内鮮事歴」の内容検討(Ⅱ)

——明治時代から敗戦までの記述分析を中心に—— …………… 柳 準相

＜書評＞

西平直著『ライフサイクルの哲学』

——教育人間学の「作法」について—— …………… 川上 英明

生澤繁樹『共同体による自己形成—教育と政治のプラグマティズムへ—』

…………… 中西 亮太

小国喜弘編『障害児の共生教育運動 養護学校義務化反対をめぐる教育思想』

..... 森 和宏

＜ゼミ動向＞

〔大学院〕 総合演習／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／山名ゼミ／片山ゼミ／
大塚ゼミ

〔学部〕 教育人間学演習／教育臨床学演習／日本教育史演習／教育と人間形成／
価値と教育Ⅳ／教育の臨床現象学

＜研究会動向＞

「大田教育学研究会」の活動報告と展望

＜学位論文一覧＞

第47号（2021年07月）

＜特別寄稿＞

「人新世」時代末期における＜自然＞とホモ・サピエンス

——エコロジカルコミュニティの不可避性——..... 宮澤 康人

修道院と東京大学との境界に生きて

——召命への服従か、主体的行為者acteurの企画projetか——..... 吉澤 昇

＜研究論文Ⅰ＞

恵みに与る意志

——エラスムスの〈アニマ〉——..... 田中 智志

＜研究論文Ⅱ＞

1950～1960年代における養護教諭の職務と保健室の機能 柏木 睦月
他者の人格の手段化に抗する道德教育

——森昭によるカント解釈の特質と「種の論理」受容の問題——..... 川上 英明

ウィットゲンシュタインと反復の思想

——アスペクト論に着目して——..... 清野 正義

子どものための哲学（P4C）における教師の役割の可能性・序論

..... 後藤美乃理

隔たり交錯するハイデガーとベンヤミン

——ヘルダーリン解釈をめぐる——..... 志喜屋七海

日本における当事者／家族参加型メンタルヘルスリテラシー教育の展開

——精神障がい者家族会との関わりを手がかりに——..... 杉森美和子

元良勇次郎の注意論の登場と発達論および興味論への展開

——精神物理学・実験心理学から教育、そして児童（心理学）研究へ——

..... 田邊 尚樹

津波被災地域の現状を踏まえた「総合的な学習の時間」の開発

——ふたば未来学園の復興教育に着目して——..... 長戸光・久島裕介・中村優

高坂正顕と三木清における民族をめぐる思想の比較

——対談「民族の哲学」に見られる違いとその背景から——..... 中村 優

東京府立第一中学校における川田正澄校長の青年教育論

——イギリス教育視察による変化に着目して——..... 難波 知希

行為から陶冶へ

——吉田熊次の学問構想に関する一考察——..... 日隈脩一郎

共同体としての大学と政治的シティズンシップ教育

——ハリー・ボイトの「共同創造」概念に対する批判的検討——……………藤枝 聡

最初期キッターにおける教育と核家族

——第一論文「教育は啓示である—レッシング演劇の家族構造について」読解——

……………松井 健人

＜書評＞

田中智志『教育の理念を象る—教育の知識論序説—』……………大瀧 辰也

高宮正貴『価値観を広げる道徳授業づくり—教材の価値分析で発問力を高める—』

……………中西 亮太

＜ゼミ動向＞

[大学院] 総合演習／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／山名ゼミ／片山ゼミ／
大塚ゼミ

[学部] 教育政治学演習／教育文化論演習／戦後教育史演習／文化と教育の哲学／
価値と教育Ⅰ／臨床教育現象学

＜学位論文一覧＞

第48号（2022年07月）

＜特別寄稿＞

修道院と東京大学との境界に生きて

——第二話 CosmosからChaosへ——……………吉澤 昇

＜講演記録＞

地球平和憲章とウクライナ問題

——ムジカ9条の会の講演 {4月19日 中野ゼロ} ——……………堀尾 輝久

＜研究論文Ⅰ＞

道徳教育と社会を結ぶものとしての「宗教心」

——自由学園における実践と羽仁もと子の教育思想に着目して——……………相田 まり

リアリズムという倫理

——ウィトゲンシュタインの思想における「あるがまま」について——……………清野 正義

元良勇次郎の倫理教育論における理念と教育方法論および教師論に関する考察

——明治後期における中等教育・師範教育の倫理教育史の一断面——……………田邊 尚樹

COVID-19下における放課後子ども教室・放課後児童クラブの現場報告・分析

——「宙吊りになる児童の権利と生」アガンベンの議論を中心に参照して——

……………島本 篤

G.ドゥルーズにおける変身のための他者についての一考察

——批評「ミシェル・トゥルニエと他者なき世界」のフライデーをてがかりに——

……………瑞慶覧 洸太

カントにおける「二重の固有性」の問題……………土屋 創

高度成長期の中学「就職組」生徒に対する進路指導

——愛知県新城市立東郷中学校の実践に着目して——……………増田 涼太

社会科学から自己啓発へ

——吉野源三郎『君たちはどう生きるか』（小説版・漫画版）の解釈変遷——

……………松井 健人

発達保障論における「ヨコへの発達」概念の変容

——全国障害者問題研究会の結成（1967年）前後の議論を手がかりとして——

- 森 和宏
カントにおける訓練と徳の仮象..... 柳橋 晃
インクルーシブな学校づくりにおける保護者・地域との連携の実践的思想と技法
——大阪市立大空小学校における学校参加の事例から—— 渡邊 真之

<翻訳>

- 「似非ビルドゥング批判—テオドル・W・アドルノのビルドゥング論について」
..... ローター・ヴィガー（花井洸太・山名淳 訳）

<書評>

- ジョン・ロールズ／神島裕子・福間聡訳『政治的リベラリズム 増補版』
..... 中西 亮太

<映画評>

- 『グリーンブック』（2018）
——「引き裂かれたハビトゥス」とその交わり—— 久島 玲

<ゼミ動向>

- [大学院] 総合演習／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／山名ゼミ／片山ゼミ／
大塚ゼミ
[学部] 教育の公共性を考える／教育と交感性を考える／近現代日本教育史演習／
教育と人間形成の哲学／価値と教育Ⅱ／教育臨床問題について考える

<学位論文一覧>

第49号（2023年07月）

<特別寄稿>

- 『地球時代と平和への思想』を書き終えて 堀尾 輝久
コロナ禍はヒトという種の生存に何を問題提起しているのか
——「人新世時代」末期のヒューマニズムの驕りと欺瞞—— 宮澤 康人
修道院と東京大学との境界に生きて
——第3話 1954年、私たちは18才だった—— 吉澤 昇

<研究論文Ⅰ>

- フランス革命期におけるアカデミー批判言説とその廃止の経緯について
..... 隠岐さや香

<研究論文Ⅱ>

- 郷学研究史の沿革と展望..... 上野 拓海
肢体不自由特別支援学校における自立活動の批判的検討
——「自立観」の転換を手がかりに—— 金成 陽世
M・フーコーにおける主体概念の关系的性格
——ニーチェ読解を中心に—— 木村 綜一郎
フーコーと「態度」としての啓蒙
——「批判」「理性の公的使用」「未成年状態からの脱却」を巡って——
..... 櫛桁 祐哉
自由論—決定論—行為論から見る日常概念の分析
——「既生性」概念の導入を通して—— 島本 篤

なぜ高校生平和大使は「政治的」なのか ——ジャック・ランシエールの政治論を手がかりに——	高田 春奈
「新自由主義」的ミュージアム改革への批判をふまえた 「フォーラムとしてのミュージアム」論の再考	田原よし乃
1950年代の勝田守一における教師の教育研究論の展開 ——実践記録の位置づけに着目して——	久島 裕介
価値多元的社会におけるアリストテレス的道德教育論の根本問題 ——「幸福な人=有徳な人」の図式と徳を志向・要求することのアポリア——	古舘 充斗
戦後日本の中学校における進路指導をめぐる研究動向と課題 ——1960年代までの中卒就職に焦点を当てて——	増田 涼太
戦後教育学における反人文・反大正教養主義としての「教養」の提唱 ——国民的教養論・共通教養論の整理と課題——	松井 健人
「現代っ子」論の再検討 ——1960年代前半の生活指導運動における「都市の子ども」に関する史的考察——	渡邊 真之
小学校社会科における「国際教育」の内容と特徴 ——学習指導要領の内容構成と教科書記述の分析を中心に——	柳 準相
<研究ノート>	
東京都における学校管理職選考試験制度の導入過程	佐伯 拓磨
<翻訳>	
コールバーグ以後 ——徳倫理学が道德教育と道德的発達の理論へ与えるインプリケーション——	デイヴィッド・カー (片山勝茂 監訳、中西亮太・古舘充斗 訳)
<書評>	
桑嶋晋平『勝田守一と京都学派 ——初期思考の形成過程と忘却された思想の水脈——』	中村 優
田中孝彦・田中昌弥・杉浦正幸・堀尾輝久編『戦後教育学の再検討 上・下』	松井 健人
<ゼミ動向>	
[大学院] 総合演習／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／山名ゼミ／隠岐ゼミ／ 片山ゼミ／大塚ゼミ	
[学部] 教育人間学演習／教育臨床学演習／日本教育史演習／文化と教育の哲学／ 文系・理系の教育史／価値と教育Ⅲ／教育の臨床現象学	
<学位論文一覧>	